

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【公開番号】特開2021-98837(P2021-98837A)

【公開日】令和3年7月1日(2021.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2021-029

【出願番号】特願2020-166621(P2020-166621)

【国際特許分類】

C 08 J 5/18 (2006.01)

H 05 K 1/03 (2006.01)

B 32 B 15/08 (2006.01)

【F I】

C 08 J 5/18 C F D

C 08 J 5/18 C F G

H 05 K 1/03 6 1 0 H

H 05 K 1/03 6 3 0 H

B 32 B 15/08 Q

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月6日(2021.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに反対側にある第1表面と第2表面とを含み、

前記第1表面の尖度(Rku)は3.0以上かつ60.0以下であり、

前記尖度はJIS B 0601:2001によって定義されることを特徴とする、

積層体に使用される液晶ポリマーフィルム。

【請求項2】

前記第1表面のRkuは3.4以上かつ60.0以下であることを特徴とする、請求項1に記載の液晶ポリマーフィルム。

【請求項3】

前記第1表面の算術平均粗さは0.09μm以下であり、前記算術平均粗さはJIS B 0601:1994によって定義されることを特徴とする、請求項1又は2に記載の液晶ポリマーフィルム。

【請求項4】

前記第1表面の算術平均粗さは0.02μm以上かつ0.09μm以下であることを特徴とする、請求項3に記載の液晶ポリマーフィルム。

【請求項5】

前記第1表面の十点平均粗さは2.0μm以下であり、前記十点平均粗さはJIS B 0601:1994によって定義されることを特徴とする、請求項1~4のいずれか一項に記載の液晶ポリマーフィルム。

【請求項6】

前記第1表面の十点平均粗さは0.1μm以上かつ2.0μm以下であることを特徴とする、請求項5に記載の液晶ポリマーフィルム。

【請求項7】

前記第2表面の R_{ku} は3.0以上かつ60.0以下であることを特徴とする、請求項1～6のいずれか一項に記載の液晶ポリマーフィルム。

【請求項8】

前記第2表面の算術平均粗さは0.09μm以下であることを特徴とする、請求項1～7のいずれか一項に記載の液晶ポリマーフィルム。

【請求項9】

前記第2表面の十点平均粗さは2.0μm以下であることを特徴とする、請求項1～8のいずれか一項に記載の液晶ポリマーフィルム。

【請求項10】

第1の金属箔と、請求項1～9のいずれか一項に記載の液晶ポリマーフィルムと、を含む積層体であって、

前記第1の金属箔は前記液晶ポリマーフィルムの前記第1表面上に配置されている、積層体。

【請求項11】

前記積層体は第2の金属箔を含み、前記第2の金属箔は前記液晶ポリマーフィルムの前記第2表面上に配置されていることを特徴とする、請求項10に記載の積層体。